

様式 1 （主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(1)-ア	脱炭素島しょ社会の実現に向けたエネルギー施策の推進	施 策	③二酸化炭素の吸収源対策の推進
			施策の小項目名	〇吸収源対策に係る取組
主な取組	造林事業		対応する成果指標	県が認証した二酸化炭素吸収量（累計）
施策の方向	・循環型林業を推進し、森林整備による森林の炭素固定能力の向上や木材利用促進による吸収源対策に努めるとともに、環境保全型農業の推進による農地土壌における吸収源対策、海域等のブルーカーボンに関する知見の蓄積など、各種吸収源対策に取り組めます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
木材生産及び水土保全その他の森林の持つ多面的機能の高度発揮のため、民有林において人工造林、樹下植栽及び保育等の森林整備を実施する。	県,市町村等	人工造林及び樹下植栽の実施		
		実施箇所数（累計）		
		30箇所	30箇所（60箇所）	30箇所（90箇所）
担当部課【連絡先】	農林水産部森林管理課【 098-866-2295 】		関連URL	https://www.pref.okinawa.jp/site/norin/shinrin/kikaku/shuyoujigyou.html

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況					(単位：千円)				
予算事業名		造林奨励費			予算事業名		造林奨励費		
主な財源	実施方法	R4年度 決算額		R5年度 決算見込額	R6年度				
					主な財源	実施方法	当初予算額		
内閣府計上	補助	237, 422		238, 393	内閣府計上	補助	224, 357		
令和5年度活動内容					令和6年度活動計画				
人工造林及び樹下植栽を15. 15ha実施した。また、既存の造林地においては、下刈り、施肥、除伐等の保育を実施した。					人工造林及び樹下植栽を16. 48ha実施する。また、既存の造林地においては、下刈り、施肥、除伐等の保育を実施する。				
予算事業名		県営林造成費（補助事業）			予算事業名		県営林造成費（補助事業）		
主な財源	実施方法	R4年度 決算額		R5年度 決算見込額	R6年度				
					主な財源	実施方法	当初予算額		
内閣府計上	委託	32, 604		54, 404	内閣府計上	委託	44, 640		
令和5年度活動内容					令和6年度活動計画				
人工造林及び樹下植栽を6. 05ha実施した。また、既存の造林地においては、下刈り、施肥、除伐等の保育を実施した。					人工造林及び樹下植栽を3. 11ha実施する。また、既存の造林地においては、下刈り、施肥、除伐等の保育を実施する。				

活動指標名		実施箇所数（累計）		R5年度			進捗状況	活動概要
実績値	R3年度	R4年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B	無立木地への造林や複層林整備を25箇所実施した。		
	31箇所	19箇所	25箇所	30箇所（60箇所）	83. 3%	概ね順調		

様式 1 （主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
荒廃原野等の植栽を要する箇所の減少や、環境配慮に伴う伐採面積の減少等によって、目標値の8割程度となった。	
(2)これまでの改善案の反映状況	
令和5年度の取組改善案	反映状況
○ 市町村に対して、緊密な連絡調整を行い、技術的な助言・指導等を強化する。また、林業研究会等を活用し、林業に関する知見や技術等を身につける場を設ける。 ○ 環境に配慮した収穫伐採を行い、森林資源の利活用と環境保全の両立を図る循環型施業が実現できるよう、早生樹種の造林指針作成に資するための継続的な調査及び新規に植栽を実施した市町村への支援を行う。	○ 日頃から市町村と連絡調整を密に行い、課題や懸念点等の共有を図った。また、地区ごとの林業研究会等を活用して、市町村への指導・助言を行った。 ○ 早生樹種について成長量等に関する調査を行った。

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
② 他の実施主体の状況 (内部要因)	事業主体である市町村において、林業を専門とする技術職員がいないことから、継続した技術的助言・指導等が必要である。	② 連携の強化・改善	引き続き、緊密な連絡調整や林業研究会等を通して、市町村への技術的な助言・指導等を行う。
④ 社会・経済情勢の変化 (外部環境の変化)	林業の中核的な地域であるやんばる3村（国頭村、大宜味村、東村）は、令和3年度に世界自然遺産へ登録されたことから、貴重な自然環境に配慮した森林施業を推進する必要がある。	⑥ 変化に対応した取組の改善	森林資源の利活用と環境保全の両立を図る循環型施業が実現できるよう、早生樹種の造林指針作成に資するための継続的な調査を行う。

様式 1 （主な取組）

「主な取組」 検証票

施策展開	1-(1)-ア	脱炭素島しょ社会の実現に向けたエネルギー施策の推進	施 策	③二酸化炭素の吸収源対策の推進
			施策の小項目名	〇吸収源対策に係る取組
主な取組	環境に配慮した持続可能な農業の推進		対応する成果指標	県が認証した二酸化炭素吸収量（累計）
施策の方向	・循環型林業を推進し、森林整備による森林の炭素固定能力の向上や木材利用促進による吸収源対策に努めるとともに、環境保全型農業の推進による農地土壌における吸収源対策、海域等のブルーカーボンに関する知見の蓄積など、各種吸収源対策に取り組めます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
環境保全型農業を推進または啓発するため、エコファーマー認定、特別栽培農産物認証の推進を行う。	県,市町村	環境保全型農業の技術開発と普及		
		エコファーマー認定会議等の開催数（累計）		
		5回	5回（10回）	5回（15回）
担当部課【連絡先】	農林水産部営農支援課	【 098-866-2280 】	関連URL	—

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況					(単位：千円)				
予算事業名		持続可能な環境保全型農業推進事業			予算事業名		持続可能な環境保全型農業推進事業		
主な財源	実施方法	R4年度 決算額		R5年度 決算見込額	R6年度				
					主な財源	実施方法	当初予算額		
県単等	直接実施	8, 677		14, 534	県単等	直接実施	12, 890		
令和5年度活動内容					令和6年度活動計画				
エコファーマーの認定に加えて、イベント等を活用し、環境保全型農業PRや意欲向上のための啓発を行った。					エコファーマーの認定や特別栽培農産物認証に加えて、イベント等を活用し、環境保全型農業PRや意欲向上のための啓発を行う。				
予算事業名		特別栽培農産物認証等推進・普及事業			予算事業名		特別栽培農産物認証等推進・普及事業		
主な財源	実施方法	R4年度 決算額		R5年度 決算見込額	R6年度				
					主な財源	実施方法	当初予算額		
一括交付金 (ソフト)	委託	37, 181		37, 718	一括交付金 (ソフト)	委託	37, 718		
令和5年度活動内容					令和6年度活動計画				
特裁水準の栽培技術に関するマニュアル作成のための実証を行い、また関係機関に制度の周知や栽培技術の普及を図った。					特裁水準の栽培技術に関するマニュアルを作成し、また関係機関に制度の周知や栽培技術の普及を図る。				
活動指標名		エコファーマー認定会議等の開催数（累計）		R5年度			進捗状況	活動概要	
実績値	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B				
	3回	5回	5回	5回（10回）	100.0%	順調		エコファーマーや特別栽培農産物認証などの環境保全型農業について、イベント等で普及啓発活動を行った。	

様式 1 （主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
エコファーマー認定会議等の開催数は、目標の5件を達成し、取組は順調である。	
(2)これまでの改善案の反映状況	
令和5年度の実施改善案	反映状況
出荷団体等や生産者に対して、特裁マニュアルの勉強会や実証圃場での現地検討会を行う。	生産者や普及員等関係機関を参集し、勉強会や現地検討会を実施した。

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
① 県の制度、執行体制 (内部要因)	○制度の認知度向上や確立した栽培技術の普及を図る必要がある。	① 執行体制の改善	○出荷団体等や生産者に対して、特裁マニュアルの勉強会や実証圃場での現地検討会を行う。